

訂正 特定事象の発生箇所E下記のとおり訂正します。

(正)1~3号機 ← (誤)1~5号機

①
Rev.1

様式7-1

Rev.1 平成23年4月24日
(発信時刻 9時55分)

10:20

特定事象発生通報 (原子炉施設)

平成 23年 3月 11日
経済産業大臣, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿 (発信時刻 時 分)

第 10 条 通報 通報者名 福島第一原子力発電所長 吉田 昌郎
連絡先 0240-32-2101(代)

特定事象の発生について、原子力災害対策特別措置法第10条第1項の規定に基づき通報します。

原子力事業所の名称及び場所	東京電力株式会社 福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所	福島第一原子力発電所1~3号機
特定事象の発生時刻	平成 23年 3月 11日 15時 42分 (24時間表示)
発生した特定事象の概要	<p>特定事象の種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ①敷地境界放射線量上昇 ②放射性物質通常経路放出 ③火災爆発等による放射性物質放出 ④スクラム失敗 ⑤原子炉冷却材漏えい ⑥原子炉給水喪失 ⑦原子炉除熱機能喪失 ⑧全交流電源喪失 ⑨直流電源喪失 (部分喪失) ⑩停止時原子炉水位低下 ⑪燃料プール水位低下 ⑫中央制御室使用不能 ⑬原子炉外臨界蓋然性
	<p>想定される原因</p> <p>故障, 誤操作, 漏えい, 火災, 爆発, 地震, 調査中, その他 ()</p>
	<p>検出された放射線量の状況, 検出された放射性物質の状況又は主な施設・設備等の状態等</p> <p>原子炉の運転状態 発生前 (運転中, 起動操作中, 停止操作中, 停止中) 発生後 (状態継続, 停止操作中, 全制御棒全挿入)</p> <p>ECCS系の作動状態 (要求信号/有・無, 成功, 一部失敗, 全台失敗)</p> <p>排気筒放射線モニタの指示値 (排気筒名: 確認中) 変化無し, 変化有り (発生前の値 確認中)</p> <p>モニタリングポストの指示値 確認中 変化無し, 変化有り (発生前の値 _____ nGy/h → 最大値 _____ nGy/h, MPNo. _____)</p> <p>その他 地震発生に伴う津波によりD/G冷却海水系が水没したため、冷却水が無くなり、D/Gがトリップした。</p>
その他特定事象の把握に参考となる情報	<p>1~5号機: D/G全台使用不能</p> <p>6号機: 6B D/Gのみ運転中</p>